

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 143 号 2010.3.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

埼玉県 入間市・狭山市の畑では...

埼玉県の入間市と狭山市には、自然農法の畑が数カ所あります。中には、昭和から平成初めにかけて、立派な稲や野菜を作り、現在活躍する実施者の方々に大きな影響を与えた岸さんや、30年近く取り組んでいる清水さんもいますが、今回は、三六九会、入間グループ、弥生会にスポットをあててみたいと思います！



平成 3 年 市販(左)の野菜との比較
無施肥(右)はしっかりまいて



3月14日 ジャガイモ種植え

三六九会は無施肥 24 年目のお茶栽培がメインですが、ダイコンやジャガイモなどの野菜も作っています。しかし、数年来何を作っても美味しく、あまり収穫できずにいました。このままではいけないと、係で話し合い、三六九会員全体で心をひとつにして農園に取り組もうと皆で決意してから、だんだんできるようになってきました。去年は期待していなかったカボチャやハヤトウリがいつの間にか実っていて、嬉しい驚きでした。

ジャガイモは、30kg の種芋から 62kg の収穫となりました。今年も 3 月 14 日に 30kg の種芋を植えました。



お知らせコーナー

また、畑の入り口にパンフレットやホットニュース、自然農法と市販の作物の腐敗実験をしたピンを置き、通りかかった方にお知らせしています。



入間グループでは一昨年から新たに 15 坪の畑を借りることができ、去年の夏はトウガンがたくさんとれました。また、虫除けのため寒冷紗をかけるようにしたところ、11 月に種をまいたコマツナが元気に育ってくれました。係の一人が友人にあげたら、「コマツナがおいしくて、いつもよりご飯をたくさん食べちゃった」と喜んでくれたとのこと。秋に苗を植えたブロッコリーはなかなか大きくならなかったのですが今月には立派になり、その姿の美しさに感動しました。味も最高でした。今年も昔よくとれたキュウリに再挑戦する予定です。

主に 20 代の青年が取り組む弥生会農園も今年始動します。スタッフからは「正直、去年は収量の成績があまり出せなかったけど、今年は弥生会ならこれという作物作りを目指し、自然農法の普及に役立っていきたい」とのことです。その中でも「支柱の工夫でヤマモの長さに進歩があったり、インゲンやニンジンも良いものができたので、種植えの時期が良かったのか、など研究していきたい」とのこと。また「自分は感動が少ないので、畑を通して、作物や土、さらには人間を愛することを学んでいきたい」という青年や、あるスタッフは「去年、収穫したスイカを、体調が悪く何も口にできなくなった身内にあげたら、スツとのを通ったことから、自然農法への意識がガラッと変わった」という体験を話してくださいました。



弥生会農園といえば、無施肥無農薬の土年数 29 年目の畑を持ち、数々の生産者や実施者を輩出した畑です。スタッフの皆さんはのご時勢、お仕事も大変で、なかなか時間も作れないみたいですが、今年もぜひがんばってほしいです！（編集部）



3月14日 ジャガイモ種植え

作物を育てる土のすばらしさに感動！

安中市 石井 清



平成 19 年 8 月下旬、義妹の勧めもあって、自宅の裏の農地 200 坪を借りることができました。草刈りに訪れた畑の地主さんに、自然農法での野菜作りをしたいので、土地を貸していただきたいと話す、快く受け入れてくれて、草刈りをしてくれば無料で貸してあげるとのこと。私がここに住み始めてから 15 年の間、地主さんは毎年 4、5 回程度、草刈りをしていたので、除草剤などを使っていないのではと思い、聞いてみると、犬を飼っている家が周りに多いので、除草剤、農薬などは使えなかったそうです。無施肥無農薬栽培を行っていく上でこれほど有り難い話はありません。

9 月よりさっそく自然農法に挑戦しました。スコップで土地の真ん中辺りを耕して、畝を作り、ダイコンの種をまきました。その後、日々の生育を見ながら、成長したダイコンは大変おいしく、葉まで安心して食することができました。翌 20 年の春は、サヤインゲン、ジャガイモ、キュウリ、ナス、ミニトマトなどの栽培と、畑の面積も増え、忙しくなってきました。



去年は、自然農法に取り組んでいる先輩の勧めで、初めて夏季農産展に出品することができました。また、秋に収穫したサツマイモ(紅アズマ)を両親に食べてもらおうと、「今まで、これほど甘くてうまいサツマイモは食べたことがない」と喜んで



くれました。この年に栽培した野菜の種類は 20 種類あまり、土地の半分(約 100 坪)での栽培です。

今年は、残りの 100 坪をどう有効利用していくかが課題です。自然農法に取り組む、これほどたくさんの種類の野菜を収穫できた体験を通して、自然の土の素晴らしさ、有り難さに触れられたことに感謝したいと思います。

自然農法のみかんで回復した主人

龍ヶ崎市 伊藤容子



去年 12 月 2 日、主人が「調子が悪い」と言って仕事から帰ってきて、ひと眠りしたあと、トイレの中で倒れてしまいました。突然パタンと物音がしたので、私があわててトイレに行くと、主人は水道の蛇口のように血をはき、血尿も出ていました。私は冷静さを失い、あわてて知人に連絡をすると、知人は落ち着いて対応するよう色々教えてくれました。その後も 3 回ほど上から下からと出血し、私は祈る気持ちで看病をし、朝方にやっと主人は落ち着きました。

翌日お昼ごろ、大変有り難いことに、届いたばかりという自然農法のみかんを頂きましたので、早速、外皮と薄皮をむき、フキンで身だけを固くしぼり、コップ半分くらいのジュースを作りました。昨夜から何も食べられず、お茶さえも口にしていなかったので、主人が飲んでくれるか心配しながら、「みかんジュース飲む？」と聞くと、パッと起き、奪うようにコップを取り、一気に飲み、また眠りました。びっくりしました。まるで飲むことが決まっていたかのような動きだったからです。

主人が目覚めたとき、「ジュースよく飲めたわね？」と聞くと、「少しすっぱかったけれど、おいしかった」と言い、青白い顔から少しピンクがかった顔色になっていました。

その後、自然のみかん、お米、ほうじ茶のお陰で徐々に回復し、仕事にも 2 週間ちょっとで復帰できました。自然農法の力のすばらしさに感謝でいっぱいです。

お知らせ 自然農法頒布会 4月22日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定 4月3日 於：伊都能売会館
生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産：甘納豆、納豆、きのこめし	飯塚農園：みそ
長柄山自然農園：卵、シイタケ	市川生産グループ：煎茶
中島農園：ノビル	よしたい農園：モチ米
ジョリフィーユ：マドレーヌ、カスタードプリン ほか	

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>